

德普寺	江沼郡熊坂村
唯然寺	江沼郡熊坂村
願莊寺	江沼郡熊坂村
勝林寺	江沼郡右村
空善寺	江沼郡敷地村
發願寺	江沼郡三ツ村
淨泉寺	江沼郡南郷村
願誓寺	江沼郡長谷田村
法圓寺	江沼郡上原村
佛願寺	江沼郡四十九院村
專光寺	江沼郡山代村
正願寺	江沼郡加茂村
因乘寺	江沼郡庄村
明教寺	江沼郡富塚村
稱名寺	江沼郡塚田村
恩隨寺	江沼郡橋立村
興宗寺	江沼郡月津村
西榮寺	江沼郡塩屋村
燈明寺	江沼郡山中村
壽經寺	江沼郡山中村
光立寺	能美郡串村
光林寺	能美郡串茶屋村
聖德寺	能美郡日末村
シンジヨウ	新庄 石川郡富樫庄にある部落。今は上新庄・下新庄に別れてゐる。新庄の名は、もとの富樫庄に對して更に新立の庄園の義であらう。
シンジヨウ	新庄 鹿島郡一青庄に屬する部落。
シンジヨウ	新庄 天正十年九月六日前田利家の石清水八幡宮に鹿島郡新庄村七十俵の地を寄進した文書がある。この新庄は同じく天正十四年十月朔日の寄進狀に飯川八幡村と

なつてゐて、後の八幡新庄のうち八幡村である。八幡村の石清水八幡宮領は、慶長十一年十月廿八日前田利長の時、鳳至郡光村三十五石を以て代へられた。

シンシヨウイン 眞照院 加賀藩主第三代前田利常の女富姫の法號。詳しくは眞照院香嶽宗春大姉。又眞性院にも作る。元和七年正月金澤城に誕生、寛永十九年九月十二日八條宮智忠親王の妃となり、寛文二年八月二十二日京都に薨じ、靈柩を野田山なる先考利常の墳側に歸葬した。その御墓は明治三十六年二月五日宮内省の管轄に轉じた。兆域二二五方米。

シンジヨウカナヤマサイキヨ 新庄金山裁許 越中新川郡なる新庄金山裁許は、寛文三年新庄御馬廻小川文兵衛の命ぜられたのが初であらう。天和二年前田二代平左衛門に命ぜられ、同年轉役して内藤市丞が之に代り、後元祿に至つて二人宛勤めることになつた。

シンシヨウジ 眞證寺 河北郡高松に在つて、眞宗東派に屬する。
シンシヨウジ 眞照寺 鳳至郡宅田に在つて眞宗東派に屬する。當寺内には寶篋印塔類似の石塔がある。

シンジヨウジ 眞乘寺 金澤木、新保に在つて、眞宗東派に屬する。初め石引町に在つたが、天和二年今の地に移つた。
シンジヨウジ 眞成寺 金澤上小川町に在つて、妙蓮山と號し、日蓮宗に屬する。寺記に、正保四年妙成寺十五代日條小松に創立し、萬治二年金澤に轉じ、寛文十一年今の地に寺を建てたとある。

シンジヨウジ 眞成寺 能美郡白峰に在つ

て、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十二年二月寺號の公稱を許された。

シンジヨウジ 眞淨寺 鳳至郡會福に在つて、眞宗東派に屬する。
シンジヨウジ 眞淨寺 珠洲郡南黒丸に在つて、眞宗西派に屬する。
シンジヨウジ 信誠寺 石川郡松任に在つて、眞宗東派に屬する。

シンシヨウボウ 眞性坊 金澤堅町眞性坊小路に居り、金澤東照宮の中衆を勤める天台山伏であつた。
シンシヨウボウシヨウチ 眞性坊小路 眞乘坊小路とも書く。金澤堅町松崎小路の上に並び、山伏眞性坊の邸地があつた爲の稱である。明治四年四月戸籍編成の際、此の附近を都べて池田町とした。

シンジンリユウ 深甚流 ↓クサフカジンシロウ 草深甚四郎。
シンセイ 眞盛 ↓コウセイ 恒盛。
シンセイ 眞政 諱は圓忍。石川郡吉藤の人。俗姓窪田氏。十四歳州の伏見寺に入り、快玄阿闍梨に師事し、遂に眞言の奥秘を極めて神鳳寺中興の祖となつた。延寶五年十二月廿五日六十九歳で歿。

シンセイトウシヨブクレイ 新製頭書服忌令 一冊。天保元年山崎頼母籍侃著。世に山崎本服忌令といふ。元文元年幕府改定の服忌令に、加賀藩が布達した法令及び近例等を釐頭に註したものである。
シンセイヘイテング 新製平天儀 天保十一年金澤の人米室白祐の製したもので、天文測定圖表である。新製平天儀俗解一冊も同年出版せられてゐる。

シンゼン 眞禪 ↓カクカイシンゼン 覺海眞禪。
シンゼンコウジ 新善光寺 珠洲郡眞脇に在つて、淨土宗に屬する。能登名跡志に『新善光寺と云うて淨土宗あり。本尊は信州善光寺前立同木同作の尊像也。白の臺座より二尺の御長也。厨子に眞子附けてそのまゝあり。正月十六日・七月十六日開帳あり。』と見え、又能登誌にはこの寺をもと同郡市、瀬に在つたとする。↓イチノセ 市、瀬(珠洲)。

シンゼンジ 眞善寺 鳳至郡四位に在つて、眞宗東派に屬する。
シンセンワクンカイ 新撰和訓解 前田綱紀が田中式如に命じて録上せしめたものであるが、現存しないやうである。

シンダイ 身體 身代の宛字で、家産の義。『婚禮並養子引移之節、衣服諸道具之用意等過分に費用相掛、以之外身體之障と相成候事に候。』など、見える。
ジンダタニ 神田谷 鳳至郡天川山・岩坪山南方の溪谷で、その水石休場附近を経て河原田川に注ぐ。

ジンダチ 陣太刀 ↓タイトウ 帶刀。
シンタテマチ 新堅町 金澤の町名。堅町の後に生じた爲の稱である。堅町がもと堅河原町であつた如く、新堅町も初は河原であつたのを埋め立てたものである。
シンタテマチヒロミ 新堅町廣見 往昔今の枝町は積多の居住所で、廣見と稱する地はその頃の茶吡所であつたといはれる。

シンチマチ 新地町 金澤淺野川神社附近の舊名。昔は此の附近悉く河原であつたが、慶安四年稻荷橋に在つた稻荷神社をこゝに移

した。